

経営比較分析表／団体全体（令和6年度決算）

岡山県 津山市
【事業概要】

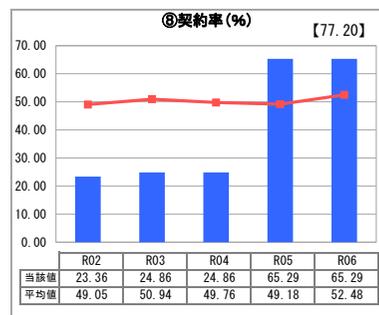
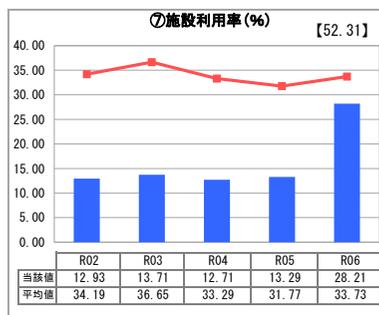
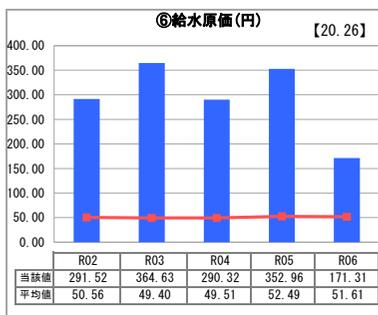
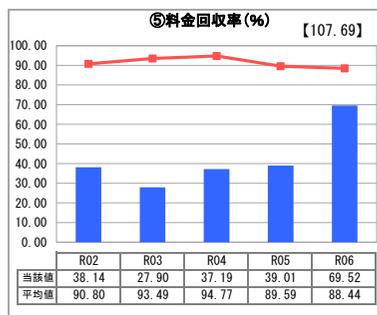
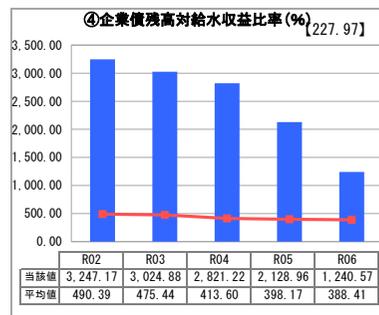
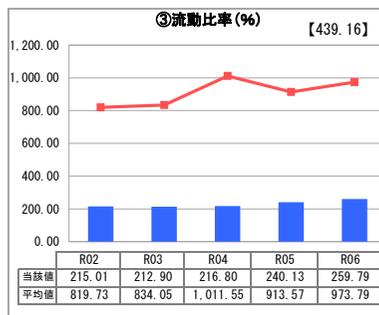
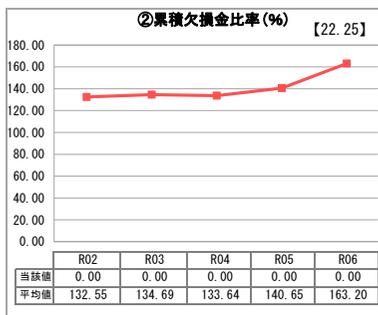
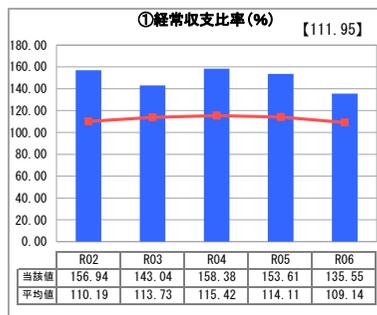
業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	1,400	極小規模	1	395
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	54.4	5	914	非設置	

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

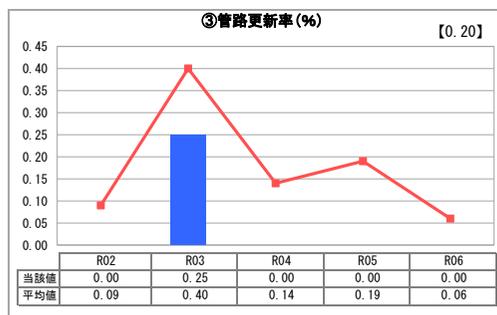
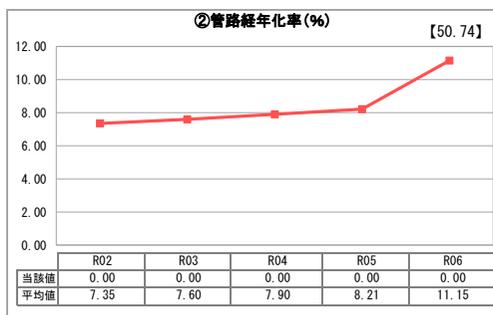
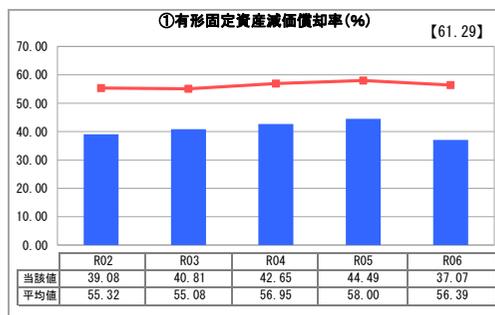
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、100%を上回っているものの、経常収益の約50%は一般会計からの補助金となっている。
 ② 令和2年度以降、累積欠損金比率は0%となっている。
 ③ 流動比率は、200~260%で推移しており、類似団体と比べ低い値となっている状況である。
 ④ 企業債残高対給水収益比率について、企業債残高は減少傾向にある。令和6年度は、給水収益増加により前年度に比べ減少したが、依然として類似団体と比べ高い値となっている。
 ⑤ 前年度に比べ、有収水量が増えたため、料金回収率は上昇したが、依然として、100%を大きく下回っており、類似団体と比べても低い値となっている。
 ⑥ 新規供給先の本格稼働に伴い有収水量が増えたことで、給水原価は前年度より低下しているが、依然として類似団体と比べ高い値となっている。
 ⑦ 施設利用率は、類似団体と比べ低い値となっている。令和5年11月に一件新規で供給を開始し、令和6年は本格稼働したことから、配水量が増えたため、前年度と比べ上昇した。
 ⑧ 契約率は、令和5年度途中から新たに一件供給先が増えたため、令和5年度以降65%となっている。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、令和6年度は機械設備の更新等のため低下したが、依然として類似団体と比べ低い値となっている。
 ②、③
 本市の工業用水道事業は、平成6年度の届出により施設整備を行っており、管路については法定耐用年数を迎えておらず、更新が必要な管路が存在しないため、②管路経年化率と③管路更新率は0%となっている。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和5年度途中から一件新たに供給を開始し、令和6年度に本格稼働となったため、給水収益が上昇したものの、一般会計からの補助金により運営する状況は今後も変わらないと見込んでいる。
 現時点では、法定耐用年数を経過した管路は存在していないが、耐用年数の短い設備更新をはじめ、更新事業への対応が今後の課題となっている。